



みなと

みなと 55 号

2018 年 6 月 1 日

兵庫県声の図書赤十字奉仕団

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-4-5

日本赤十字社兵庫県支部内

(Tel) 078-241-9889 (Fax) 078-241-6990

代表者 田辺依子

編集者 神坂順子

平成 30 年度 声の図書赤十字奉仕団総会

平成 30 年度総会は、4 月 14 日（土）10 時より 7 階大会議室にて開催されました。 団員総数 120 名、出席者 50 名、委任状提出 59 名（総会当日受付総数）

司会は宮本貴巳子さん(青年)、議長に羽渕博子さん(ことばの花束)を指名、平成 29 年度の活動報告、収支決算報告、監査報告と審議がなされ、承認を得ました。続いて平成 30 年度の活動計画・予算(案)の承認を得、無事総会を終了しました。任期満了の役員、副委員長 富沢ナオキさん、書記 八木はるみさん、会計 大下 操さんの 3 名は退任され、今年度新役員に、副委員長 志智公子さん（青年）、会計 原 陽子さん（神戸 YWCA）、書記 神坂順子（こすもす）が承認されました。

任期を終えられた、富沢ナオキさん、八木はるみさん、大下 操さん、2 年間、担当のお役目を誠実にこなされ、本当にお疲れさまでした。
ありがとうございました。

平成 30 年度本部役員

委員長	田辺依子	(ともしび)	留任
副委員長	福井恵子	(あかりの会)	留任
副委員長	志智公子	(青年)	新任
会計	原 陽子	(神戸 YWCA)	新任
会計監査	新田真理子	(そよかぜ)	留任
書記	神坂順子	(こすもす)	新任

☆よろしくお願いいたします☆

総会終了後、懇親会が行われました。

参加者たちは、テーブルに分かれて座り…

支部から山本事業部長、岡本係長、井上主事に、各テーブルに入っていただき、昼食を共にしました。日ごろの活動の改善点とともに、田辺委員長から、団員の高齢化への対策についての問題提起がありました。和やかなひとときの中、今後に向け、前向きな意見が出され、懇親会は無事終了しました。

支部の皆様、団員の皆様、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

前本部役員のひとこと

2年を振り返って

不安を抱きつつスタートしましたが、皆様から様々な事を教えて頂きながら何とか無事に終える事が出来ました。

声の図書奉仕団の活動を勉強する機会を与えていただき、おぼろ気ではありますが、ある程度理解できたのではないかと思います。これも他役員の方々が温かく見守って下さったお陰と感謝しています。

これからは一団員として声奉の活動に積極的に参加していきたいと思います。

2年間、本当にありがとうございました。

副委員長 ことばの花束 富沢ナオキ

緊張と不安の中スタートした書記のお役目、無事に新書記さんへバトンタッチできホッとしております。何とか務められましたのも団員の皆様や1年目2年目役員の方々が支えてくださったお陰と感謝しております。

支部奉仕課の方々にも大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

「みなと」や声の図書奉仕団の様々な活動を通して、有能で素敵な声奉メンバーのお話を伺えたことは幸せでした。

委員会、研修会等グループ枠を超えての交流は貴重な体験で、私自身学ぶことの多い充実した2年間でした。

ありがとうございました。

書記 こすもす 八木はるみ

多くの方に支えていただき任期を終えることができました事、感謝申し上げます。

樹齢50年を過ぎ、巨木ともいえる声の図書奉仕団ですから、これはほんの1部でしかありません。

これからは、活動できる時間がもう少ししか残されていない事を念頭に、

リスナーにとって心のこもった誠意ある朗読をお届けしていきたいと思います。有難うございました。

会計 青年 大下 操

前本部役員の皆様、ありがとうございました。

新本部役員のひとこと

8年前、同じ任についた時はまだ若かった。今回は、気の置けない友人が

「あなた以外の人材はなかったの？」と痛烈なことを言った。

これも

「働き方改革なのさ」とうそぶきながら、衰える一方の体力、知力の補充を皆さんのご厚意にすぎるばかりである。

副委員長 志智公子（青年）

声の図書奉仕団に入会させていただいてから七年目になります。
最初は「50年の歴史！」「会員数140名！」に驚いたのですが、
これといって何もしないままに歳月が過ぎてしまいました。

この度、役員を引き受けることになり私に出来るのか不安ですが、
先輩の皆様にご指導いただき

チームワークを大切に、リスナーさんの声にも耳を傾けながら、
より良い声の図書を作っていきたいと願っております。

どうぞ宜しくお願い致します。

会計 原 陽子（神戸YWCA）

2年間、書記を担当させていただくことになりました。

とても丁寧なお仕事を成してこられた

歴代の書記さんのようには…できないと思います。

志智さんの「働き方改革」に同感です。

頑張らないことを頑張ります。<m()m>

どうぞ、よろしくお願いいたします。

書記 神坂順子（こすもす）

日赤支部奉仕課職員のご挨拶

奉仕課 主事

井上 星奈

平成 30 年 4 月 1 日より兵庫県支部事業部奉仕課に配属されました井上星奈と申します。日本赤十字社に入社して、5 年目となりました。出身は石川県で、学生時代は学生赤十字奉仕団・安全法奉仕団・学生献血推進委員会に所属し、ボランティアとして活動していました。今は職員の立場で、みなさんと一緒に赤十字事業を盛り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

奉仕課 奉仕係長兼青少年係長 岡本 昇

4 月より、兵庫県支部事業部奉仕課奉仕係長兼青少年係長を拝命いたしました岡本と申します。

これまで、兵庫県赤十字血液センターなどで 23 年間、血液事業に携わってきました。いまは、兵庫県支部の仕事をひたすら覚えるという日々を過ごしております。まだわからないことばかりでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導いただけますと幸いです。



左から

井上主事

山本事業部長

平野課長

岡本係長

重森主事



デイジー発送作業について

デイジー発送作業は

- ・ 発送枚数の CD を準備する。(全消去対象の CD は全消去しておく)
- ・ CD ケースに「〇月号」の点字ラベルを貼る。
- ・ CD の裏面に傷がないかどうか確認しながら、不織布で拭く。
- ・ CD ケースの破損があれば新しいケースに取り替える。
- ・ リスナー名簿に〇月号と発送日を記入し、宛名カードとリスナー名簿の数が合うかどうかを確認して発送枚数分準備をする。(未返却の方の宛名カードも準備する)
- ・ 宛名カードを郵袋に入れておく。
- ・ マザー作成チームからマザーCD を受け取ってサブマザーを作り、コピー機でコピーをする。
- ・ パソコンやプレクストークの機器でモニターチェックをする。
- ・ OK であれば、宛名カードと CD を確認して郵袋に入れて発送する。

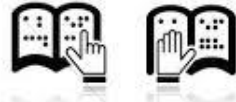
以上のような流れでリスナーさんにお届けしています。

「日赤声のアルバム」の発送枚数は約 193 枚（2018 年 5 月現在）です。リスナーさんからの返却・未返却にかかわらず、毎月登録されている方全員に発送しているため、中には未返却が続いている方もおられます。長期未返却の方には、年 2 回、1 月と 7 月に電話連絡をするようにしています。たいていの方は連絡がつけば、まとめて返却していただきますが、なかなか連絡がつかず、留守電にメッセージを入れておきますと、後日、ご家族の方から「聞く意欲が低下してしまっているので発送は中止にしてください。」とお電話をいただくこともあります。長期未返却の方への電話連絡はこういった状況を把握する上でも、今後必要ではないかと思っております。

平郡孝美（そよかぜ）



点字班



こんにちは 新しい年度を迎え声の図書の皆様も忙しい日々と存じます。
点字班のメンバーも日程をやり繰りしながら、例会に参加されています。例会は毎月第2火曜日の10時から3時まで行っています。開始時間には集まっていただき、スムーズに進行出来ます事、皆様の協力に感謝申し上げます。

例会はひと月の活動報告と点字の学習そして作業などを行います。

点字の学習は「ぐりとぐら」の絵本をすることになりました。墨字と点字を表記したテキストを担当者が作成します。マスあけ（点字独特のことばの区切り）と読み取りそして点字を書く（打つ）練習をします

作業は単行図書目録・声のアルバムラベル・交流会のプログラム・学校講習教材などの作成をします。これらの点字は点字プリンターを使用します。パソコンに点字入力後プリンターと連動させて印刷しますが、作業は複雑しかも点字プリンターはデリケートです。へそを曲げるとうんとともすんともいわなくなるので扱いには神経を使います。点字プリンターをマスターするため、扱いに慣れるため、少しずつですが練習しています。

メッセージカードの作成は年間通して行います。「子どもたちへのメッセージ集」から選んだ短い言葉は60種類位あります。4つに切った点字用紙にメッセージを点字で書き、墨字プリントの小さな紙を貼ります。イラストとリボン付きは学校講習の子供たちに、イラストやリボンのないものは長年お世話になっている折り紙サークル「かうべ」に届けます。点字以外の手作業もあり、楽しく雑談しながら昨年度は660枚作成しました。

学校講習は昨年度3校でした。講師とサポーターの6名位が参加しますが、講師を務められていた杉本さんが退団されたので大変困っています。良く通る明るい声で要点を的確に説明され、笑顔で子供たちの緊張を和らげ楽しい授業にしてくださいました。点字にも精通され教えて頂く事も多く大変お世話になりました。今年度の大きな課題は後継者の養成でしょうか。

点字の手紙の主なものは「声のアルバム」の感想です。読み取りは例会時に手分けして行います。中原真理子さんは毎月各雑誌の感想を10枚以上にまとめられ、どのプログラムも丁寧に聴いておられます。そのうえ奉仕団の皆様の健康にも心を配って頂き、私たちは感謝しながら読んでいます。訳したものを掲示板でご覧頂ければ嬉しく思います。

また要望などがありましたらメンバーにお伝えください。今年度も点字班をどうぞよろしくお願いいたします。
ことばの花束 門田真弓美



朗読・音訳を見直す会



朗読と音訳を見直す会に初めて参加させていただいた2年前は、ちょうど録音図書製作マニュアル＜第2版＞を発行する時期でした。

何も分からぬまま最終チェックの話し合いをお聞きし、製本をお手伝いしました。今、そのマニュアルを改めて読み返し、会員が共通した理解を持って録音に臨めるように作成してくださった先輩方のご努力にほんとうに感服しました。

最近つくづく思うのは、自分が録音した作品を校正してもらったり、ほかの人が録音した作品を校正したりすることによって、一番勉強させてもらっているという事です。

勉強会はいろいろ教えていただき有益ですが、勉強会だけではこんなにアクセント辞典や国語辞典を引きません。アクセントの思い込み間違いを知ったり、アクセント辞典の使い方を覚えていったりと、時間はかかりますがとても勉強になります。

そして、改めて「自分の読みが、表現が、聴いてくださる方の身になって、きめ細かく配慮されているか」という事を意識するようになってきました。

リスナーの皆さんが聞いていて頭の中が？だらけにならず、心にスッと入って想像してくださるような録音を目指したいと思います。

古川 直子（ことばの花束）



単行図書検討会



< 2017年度単行図書の新刊登録及び貸し出し状況 >

2017. 4. 1～2018. 3. 31

○ 新刊登録

リスナーからのリクエスト本	6冊
単行図書検討会推薦本	11冊
自薦本	2冊
プライベート本	3冊
計	22冊(昨年12冊)

○ 貸し出し

デジ図書	387冊
テープ図書	4冊
計	391冊(昨年335冊)

< 2017年度 単行図書貸し出しランキング表 >

2017. 4. 1～2018. 3. 31

順位	書名	著者名	貸出開始日	回数
1	一路 上巻	浅田 次郎	2017. 04. 20	14
2	一路 下巻	浅田 次郎	2017. 04. 20	13
3	強父論	阿川 佐和子	2017. 06. 29	10
	夜明けの街で	東野 圭吾	2016. 08. 18	10
5	すばらしい日々	よしもとばなな	2017. 10. 05	9
6	武士の紋章	池波 正太郎	2017. 12. 07	8
	コンビニ人間	村田 沙耶香	2017. 03. 17	8
	旅猫リポート	有川 浩	2017. 09. 14	8
	陸王	池井戸 潤	2017. 09. 07	8
10	あの家に暮らす四人の女	三浦 しをん	2016. 09. 01	7
	新参者	東野 圭吾	2013. 07. 15	7
	日本の言葉の由来を愛おしむ	高橋 こうじ	2017. 12. 21	7
	萩を揺らす雨	吉永 南央	2017. 08. 03	7
15	海を抱いたビー玉	森沢 明夫	2017. 11. 02	6
	老いる覚悟	森村 誠一	2012. 04. 01	6
	闇に香る嘘	下村 敦史	2015. 06. 06	6

2017年度は新刊登録、及び貸出し冊数が昨年度に比べ大幅に増えました。録音、校正、編集等に多くの方々のご協力をいただきありがとうございました。また、昨年、声のアルバム10月号より、「単行図書だより」で新刊案内や既刊図書の中からテーマ別におすすめ本の紹介を始めたところ、ご好評をいただき、これも貸し出し冊数の増加につながっているのではないかと思います。これからもリスナーへ情報提供を続けていき、より多くの方に本を楽しんでいただきたいと思いますので、これからも団員の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

単行図書検討会 中原昌代

グループ紹介 「ことばの花束」

「ことばの花束」は 1993 年に神戸市社会福祉協議会の市民福祉大学朗読ボランティア入門講座を修了した第 1 期生 19 名が立ち上げたグループです。

こうべ市民福祉交流センターを活動拠点に視覚障がい者に対して朗読テープ『はなたば』の制作を始めました。

翌年、兵庫県声の図書赤十字奉仕団へ加入したことで活動の幅が広がっていききました。

毎月『PHP』担当箇所の録音、年に 2 回『花時計』を制作、デイジー単行図書の制作に参加。昨年度は単行図書 6 冊、プライベート図書 1 冊を録音しました。

また単行図書発受担当グループとして毎週メンバー 2 名が作業にあたっています。リスナーカードを繰り返し見ているので、交流会でお会いできた時うれしくなります。

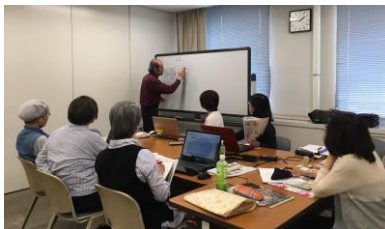
ことばの花束独自の活動としての『はなたば』の制作では、神戸を中心とした話題の提供に努めています。また今もテープを希望される方がいらっしゃるので、テープ版とデイジー版を制作しています。

心を込めて作った『はなたば』発送は全員体制で、返却分の処理等は‘はなたば係’が担当しています。

ことばの花束では活動を円滑にするため 5 つの係を設け、全員がいずれかの係を担当しています。

私たちのグループでは、朗読、録音、編集作業のレベルアップ、そしてその活動を楽しむために 2 つの取り組みをしています。

ひとつは会発足時より続けている外部講師による勉強会です。その学びの成果発表として毎年 2 月に教材の朗読発表会をしています。



もうひとつはデイジー編集勉強会です。

～今の自分よりレベルアップ！～を合言葉に、毎月の勉強会後に実施。‘機材・編集係’が中心になり講師を務めてくれます。

メンバーが楽しみにしている催しに 1 月の新年会があります。

各自が選んだ本や記事を紹介・朗読する発表会もしています。

‘勉強会係’と‘レクリエーション係’が連携で盛り上げます。

もうひとつの楽しみは親睦を深めるための秋のレクリエーションです。‘レクリエーション係’が楽しい企画をしてくれます。一昨年は新開地で大衆演劇観劇、昨年は大阪の天満天神繁盛亭で寄席を楽しみました。さて今年はどこでどんな時間を過ごすのでしょうか。

またその他、年に 2 回ほど JR 灘駅南側にある神戸市立東部在宅障害者福祉センターにおいて朗読会を行っています。センター利用者の方々に前に朗読したり、体操、歌、手話を行っています。より喜んでいただける会になるよう今年度からコアメンバーを決め、そのメンバーを中心に運営することにしました。

「ことばの花束」は、2018 年の今年 25 周年を迎えました。

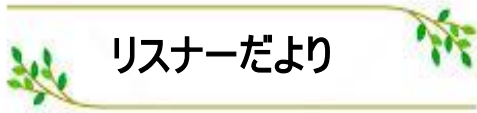
活動メンバーは 20 名。

先輩方が繋いでくださったバトンが途切れることがないように 20 名で頑張り楽しむ年にしたいです。

そして声奉 7 つのグループの皆さまともコミュニケーションを深められる年になればと思っています。

皆さま、「ことばの花束」をよろしくお願いします！ 鈴木教子





リスナーだより



後藤克子さん H.30.3.2

いつも 声のアルバムを楽しませてもらっています。いろいろな話題を選んでくださりなるほどと思いながら聞かせてもらっています。この度は、白湯を飲んで健康に、を点字で書きました。

今年こそ、お世話になっている皆様とお会いできたらと思います。

これからも、どうぞ、よろしくお願いいたします。

香山良樹さん H.30.3.27

西条ゆうじが、突然お亡くなりになったことを知りました。

このデイジー図書「西条ゆうじのおじゃまします」を知りました。弟さんと番組をしていた頃から知っています。突然だったのでびっくりしました。90 歳くらいまで生きられると思っていました。言葉が明瞭でお元気でしたから。

中原真理子さん H.30.3.27

花時計 3月号を聞きました。シンガポール旅行、想像しながら聞きました。

食べ物、スパイスが効いて美味しそうと思いました。京都物語、絵の説明もわかりやすくて良かったです。

江戸時代へタイムスリップですが、見学の様子を想像して聞きました。江戸時代の大阪の街を歩くなんて、貴重な体験をしたものだなと思いました。

吉田紀子さん H.30.4.19

「愛深き淵」を聴いて。

いつもそうなんだけど、思っているのに書けない私。同じ障害者として どう書いてよいのかわからない。絵の才能がある星野さん。私、いつもなにかあるたびに 見えていたら見えていたらと思ってしまう。

この本を聞いて、星野さんの事、すごいなあと思う。父も母も兄弟も、さっさと逝ってしまった。近所の方たちや友達にすごくお世話になりながら、どうやっても自分で生きていかなければならない。

中原真理子さん H.30.5.8

西郷どんを生んだ鹿児島の魅力ですが、いままさに大河ドラマをやっていますね。珍道中もあったけど、想像しながら、旅の様子を聞いていました。

オノマトペ効果ですが、これも聞いていて、とても楽しかったです。医療の現場でもオノマトペがあるとは知りませんでした。

皆既月食、見えませんが、なかなか何年に一回とか見られないものだろうと思いました。食生活あれこれも楽しかったです。



花時計 プログラム



花時計 4月号 ことばの花束

1. 西郷どんを生んだ鹿児島の魅力
2. オノマトペの効果
3. 宇宙に感動
4. 食生活あれこれ
5. 人生は一本の線
6. 子どもたちの5・7・5
7. お便り紹介

花時計 5月号 ともしび

1. サックスの仲間
アルスの演奏活動
2. 「名作を歩く」より
「花くれないの舞台をたどる」
3. インタビュー
残したい神戸の遺産
「湊川街道」

総会の様子



神戸まつり…

ハートラちゃん、大人気♪

